



# 市教委へ、学校現場からの要望を提出

中学校でも35人学級を 遊具の安全点検は専門業者に 洋式トイレの増設  
 教材費も公会計化へ 職員の未配置の改善 就学援助の手続きの負担の減少

尼教組は毎年、学校現場からの声をあつめ、市教委へ改善を求めています。「給食費の公会計化」「校外学習引率時の教職員の入場料の公費負担」など一歩ずつ実現してきました。

春から、職場の声をあつめ整理し、7月末に市教委へ提出しました。働きやすい職場、子どもたちのより良い教育環境をつくるよう、今後市教委と話し合いをしていきます。

## 2021 尼崎の教育の充実に関する申し入れ (抜粋)

- ・保護者からの教材費の徴収について、公会計化へ移行すること。
- ・校外学習の下見で、レンタカーの借り上げ代については、公費で負担すること。
- ・車いすや階段を利用できない児童生徒のために、エレベーターを設置すること。
- ・洋式トイレの増設をすすめること。特に古いトイレの改修を計画的に進めること。
- ・トイレ改修の際には、ジェンダー平等の観点から、男女問わないトイレの設置も考慮すること。また、停電時を考慮しいくつかの手動水栓を残すこと。
- ・学校にある遊具の安全点検は、専門業者に依頼すること。
- ・教職員の未配置や配置の遅れを解消すること。  
未配置が続出しないよう、県教委へ改善策をとるよう要望すること。
- ・食育推進のため、栄養教諭(職員)をかけもちでなく各校に1人配置すること。
- ・学校トイレの清掃を、月に1回清掃業者に委託すること。
- ・「あまっ子ステップアップ事業」について、この事業を中止し、その費用を人的支援に回すこと。
- ・全国学力調査について、悉皆ではなく抽出に変更するよう意見を上げること。
- ・中学校給食導入の際には、すべての中学校に栄養教諭を配置すること。
- ・就学援助の手続きについて、学校現場の負担を軽減するよう対策を講じること。
- ・就学援助の援助対象に、家庭でのネット通信料を追加すること。

## 市議会へ陳情提出

# 「県立高校新生タブレットは公費負担で」の意見書を

兵庫県は来年度入試の新生から約7万円のタブレットを個人負担で購入させる計画です。長い景気低迷の今、7万円もの負担増は大きいものです。尼教組は、「県が公費負担するようにしてください」との意見を兵庫県にあげるよう9月市議会に陳情を出しました。



**9/4の尼崎母親大会は、中止となりました。**

全国では、大阪府など公費で負担すると決めているところもあります。